

ゼラニウム

花レシピ

管理と楽しみ方

10

<ゼラニウムの特徴>

- 春から秋まで長期間花を楽しめます。
- フウロソウ（風露草）科の宿根草で、南アフリカ原産、ペラルゴニウムの仲間です。

<楽しみ方のポイント>

- 良い苗の選び方…
株が徒長せず、ボリューム感のあるものが良い苗です。下葉がないものや枯れ上がったもの、黄変したものは避けた方がよいでしょう。
- 植付け場所…
日当たりが良く、排水性が良く、なるべく風通しの良い場所に場所に植付けましょう。特に梅雨時期は雨に当たると花の中心部が腐ることがあります。
- 水やり…
土が乾いたら十分に水やりをします。過湿は根腐れの元になりますので注意して下さい。
- 肥料…
1ヶ月に1回、1株あたり1つまみ程度固形肥料を追肥してやると丈夫な株に育ちます。
- 管理…
咲き終わった花は摘み取りましょう。そのままにしておくと病気の原因になります。鉢でご購入された方は、ご鑑賞後プランターやお庭等に地植されても引き続き楽しめます。

<得する豆知識>

- ヨーロッパでは窓辺を飾る花として、どこの家でもプランターや鉢植えとして親しまれています。
- 日本には江戸時代末期に伝わったとされています。当時は花よりも斑入りの葉の観賞価値を重視した改良がなされました。昭和初期にも大流行し、番付まで発表されたこともあるそうです。
- 現在、実生系ではリンゴ2000シリーズやピントシリーズが多く流通しています。また、リップルシリーズのようにユニークな花色のゼラニウムも人気を集めています。栄養系ではアメリカナシリーズやハンギングに最適なアイビーゼラニウムも流通量が増えてきました。これらは容易に挿し芽で繁殖できます。

